

【知的障がい】
（道南圏）

渡島管内

北海道七飯養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒041-1112 亀田郡七飯町鳴川5丁目2 1 番地 1 号
- 問 合 せ 先 TEL 0138-65-7004
- FAX 0138-65-7004
- E-mail nanaeyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.nanaeyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「自己のもつ能力や可能性を高めるとともに一人ひとりの『生きる力』を培い、生きる喜びを育成する」

□ 概 要

本校は昭和54年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。全校児童生徒190名のうち、高等部には62名が在籍しています。

知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、個別の指導計画に基づいた学習を通して、卒業後の自立と社会参加に必要な力を育成しています。自己のもつ能力や可能性を高めるとともに一人一人の「生きる力」を培い、生きる喜びを実感させます。

また、寄宿舎では、一人一人の生活が豊かになるよう指導の充実を図っています。



■特色ある教育活動

【高等部の教育目標】

生徒一人一人が、自己実現を図り、見通しをもちながら豊かな生活を送るとともに、積極的に社会に参加していくために必要な生きる力を養う。

生徒一人一人が見通しをもち、将来の家庭生活や社会生活を見据えて、自ら進んで主体的に行動する力を養うよう支援します。

【 高等部の教育課程 】

日常生活の指導や生活単元学習、作業学習、課題学習、保健体育、音楽、美術、現場実習、総合的な探究の時間を位置付けた教育課程を編成しています。

【 総合的な探究の時間 】

第1学年では、職業体験学習「みんなで働こう」を実施します。将来の地域での生活に向けて、働くことへの興味・関心が高まるよう、体験を通して学ぶことを大切にしています。また、全学年の取組として「進路学習（進路タイム）」「地域清掃」「ALTとの交流」を実施します。

【 進路学習の充実 】

主体的に進路選択する力を育むことや卒業後の生活に見通しをもつことをねらいに、福祉施設や一般企業等で現場実習を行っています。現場実習では、職場や施設の雰囲気に触れ、職場の人との関わりや1日を通しての労働などを体験し、社会で働くために必要な知識や技能、態度を学びます。

〈第1学年：事業所限定で体験実習、第2学年：3日～5日間、第3学年：5日～10日間〉



課題学習



作業学習：木工



作業学習：園芸・軽作業



音楽



美術



朝の運動
(ジョギングタイム)

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導／保健体育				
2	作業 学習	生活 単元 学習	作業 学習	保健 体育	課題 学習 ／ 美術
3					
4	日常生活の指導（給食）				
5	日常生活の指導（片付け、清掃）				
6	保健 体育	課題 学習	帰りの 活動	音楽	帰りの 活動
7					
8	帰りの 活動	帰りの 活動		帰りの 活動	

【総合的な探究の時間】

将来の社会生活を想定した地域社会での体験を通して、生活経験の拡大を図るとともに、各教科等の学習で培われた資質・能力を関連付けた指導内容を設定し、課題を解決する力を養います。

＊ 登校時間 9：00（月～金）

＊ 下校時間 15：00（月・火・木）／13：20（水・金）

■主な学習内容とその押さえ

【 各教科等を合わせた指導 】

- 日常生活の指導
日常生活に必要な内容について、学校生活の流れに沿って学習します。
- 生活単元学習
生活上の課題解決が図られるよう、生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習します。
- 作業学習
働く力や生活する力を高めることを目指し、職業生活及び家庭生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるとともに、勤労を重んじる態度を養い、進んで社会生活に参加する態度を培います。
- 課題学習
社会参加する上で必要な自己選択や、課題解決能力が高まるよう必要な基礎・基本的事項について他領域との関連を図りながら学習します。

【 各領域・各教科別の指導 】

- 保健体育
適切な運動の経験や健康安全についての理解を通して、健康の保持増進と体力の向上を図り、豊かな生活を営む態度を培います。毎日の継続的な運動を通して、健康に生活するために必要な体力を身に付けます。
- 音楽
表現及び鑑賞の活動を通して、音楽についての興味や関心を深め、楽しさや美しさを味わい、生活を楽しむ態度を培います。
- 美術
造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養います。

■卒業後の主な進路先について（令和2年度卒業生）

- 就労継続支援B型～6名
- 生活介護訓練～18名
- 入所・グループホーム～5名

学校QRコード



渡島管内

北海道七飯養護学校おしま学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特設支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒049-0282 北斗市当別697-55
- 問 合 せ 先 TEL 0138-75-2717
FAX 0138-75-2717
E-mail nanaeyougooshima-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.nanaeyougooshima.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

自己のもつ能力や可能性を高めるとともに一人ひとりの「生きる力」を
培い、生きる喜びを育成する。

□ 育 成 像

- 1 自分から進んで学び、行動する人
- 2 自分の良さに気づき、人の良さを認め、人との関わりを大切にする人
- 3 自分のことを生き生きと表現し、将来の自己実現に向けて努力する人
- 4 基本的な生活習慣を身に付け、健やかな心と体を育む人



□ 概 要

本校は、昭和54年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした、おしま学園に併設する特設支援学校です。開校当初は、小・中学部のみの特設支援学校でしたが、隣接する学校法人ゆうあい学園ゆうあい養護学校高等部の閉校に伴い、平成19年4月に高等部が設置されました。

在籍する生徒の8割は自閉症を併せ有しているため、生徒の学習上の特性等を踏まえ、視覚的な手掛かりを手立てとした学習指導を大切にしながら、「働く喜びをもち、自分の役割を果たそうとする力」「自分の好きなことを広げ充実した生活を送れる力」が養われるようにしています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

地域社会との関わりの中で役割をもち、様々な活動に意義や喜びを見だし、自分の良さを生かし、たくましく生きる人を育てる。

【 作業学習と製品販売会 】

毎日、2時間、作業学習を行っています。清掃、軽作業など2つのグループに分かれ、生徒の実態を踏まえた取組を進めています。作業学習で作った製品は、年3回の製品販売会で販売しています。

生徒が直接お客様とやり取りし、喜んでもらう経験は、日頃の作業学習に対する意欲の向上につながっています。

【 余暇活動の充実 】

余暇を有意義に過ごすことに重点を置いた「余暇・体育」の授業では、地域を歩く「ウォーキング大会」など、地域資源を生かして将来の余暇につながる取組を行っています。

「余暇・音楽」の授業では、サマーコンサートを企画して、生徒の得意な演奏を披露するなど将来の余暇につながる取組を行っています。

【 地域との交流・清掃活動 】

今年度は7月と8月に「地域活動月間」として、当別浜やバス停の清掃活動を行う予定です。浜辺やバス停をきれいにし、地域に貢献していることを実感しながら取り組みます。



学習発表会



作業学習：空き缶リサイクル



作業学習：校舎内清掃



余暇：体育活動（釣り）



余暇：制作活動（貼り画）



余暇：音楽活動（コンサート）

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	作業学習				
4	作業学習				
5	日常生活の指導 (給食指導、清掃、歯磨きなど)				
	昼休み				
6	余暇 体育	余暇 音楽	日生	余暇 体育	日生
7	余暇 学級	探究		特活 HR	
8	日生	日生		日生	

* 登校時間 8:50 (月～金)

* 下校時間 15:00 (月・火・木) / 13:20 (水・金)

■教育課程の特徴

作業学習、余暇（体育・音楽・制作・学級）、日常生活の指導を中心的な学習として、総合的な探究の時間、自立活動等を適切に配置し、関連付けた教育課程を編成し、“卒業後の働く力、余暇を楽しむ力”の育成を目指した教育活動を展開しています。

□ 作業学習

将来の社会自立、社会参加を目指し、積極的に仕事に取り組む力や仲間と関わる力、自己選択、自己決定する力を養うことができるよう、作業活動を行っています。
〈授業時数：週10時間〉

* 体育発表会、ゆうあい祭、学習発表会では、作業学習で製作した製品を販売しています。

□ 余暇（体育・音楽・制作・学級活動）

将来、生徒が充実した余暇生活を送ることができるよう、生徒自身が主体的に楽しみを見つけ、余暇の時間を有意義に過ごす力を育てています。
〈授業時数：週5時間〉

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

□ 福祉的就労～8名【生活介護8名】

学校QRコード



渡島管内

北海道函館高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒041-0802 函館市石川町181番地8
- 問 合 せ 先 TEL/FAX 0138-34-2110
E-mail hakodatekoushi-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakodatekoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 教育 理 念

「自己と社会をつなぎ、共生社会を創造する教育の追求」

□ 校 訓

知育【探究】学び働き生きることを生涯にわたって探究する人間
徳育【協働】多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間
体育【健全】生涯にわたって、健やかな心身と豊かな感性を磨く人間



□ 概 要

本校は、平成31年4月に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。将来、社会自立を目指し、地域や社会と連携・協働しながら、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育みます。

■特色ある教育活動（設置学科：普通科 生産技術科 食品デザイン科 福祉デザイン科）

教育目標

共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間の育成

【 各教科の指導 】

全ての学科で、国語や数学などの各教科の学習を行います（外国語は普通科のみ）。各教科に応じた見方・考え方を働かせ、学習したことを関連付けてより深く理解したり、情報を詳しく調べたりすることや、問題を見いだして解決策を考え学習に取り組むことで「生きる力」を育成します。

【 社会貢献活動・ボランティア活動 】

ボランティア活動では、互いが支え合う社会であることを考えたり、幅広い年齢層の方々と接する中で生活や文化、伝統に親しんだりしながら、社会貢献を通して社会参画への意欲を高め、豊かな道徳性を養う学習に取り組みます。「カフェ」に関わる活動を通して地域と協働したり、「函館マラソン」のボランティア活動に参加したりしながら豊かな学びの場を実現します。

【 就業体験（普通科）・現場実習（職業学科） 】

就業体験では、地域や産業、労働を行う機関との連携を図り、職業の授業を通して就業体験活動の機会を積極的に取り入れています。自己に対する理解を深め、主体的に進路選択や将来設計について考えます。

現場実習は、企業等で実習を行います。働くことに関心をもち、職業適性や将来の職業生活を考えながら、実践的な活動と知識を関連付けながら理解を深めていきます。第1学年は8日間、第2学年は6月に10日間と11月に13日間、第3学年は5月に15日間と9月に19日間実施します。



普通科：国語



生産技術科：コーヒー豆の焙煎



食品デザイン科：製菓、製パン



福祉デザイン科：家庭看護



総合的な探究の時間



令和3年度 対面式

■第1学年生徒の週時程表

【普通科】

	月	火	水	木	金
1	LHR	数学	社会	数学	情報
2	美術	国語	国語	総合的な探究 の時間	
3		体育	職業		
4	外国語	保健			
5	国語	家庭	体育	家庭	自立活動
6	音楽	社会		理科	LHR

【職業学科】

	月	火	水	木	金
1	LHR	理科	作業学習	作業学習	数学
2	美術	職業			作業学習
3		体育			
4	家庭	保健	体育	数学	自立活動
5	社会	国語			
6	音楽	情報		国語	LHR

■教育課程の特徴

□ 教科横断的な学習の充実

「主権者教育」「防災・安全教育」「ICT教育」「消費者教育」「新聞教育」「ボランティア活動」など、様々な学習活動を行います。主体的・対話的で深い学びの実現を通して、豊かな生きる力を育みます。

□ 地域とつながる場「カフェ」

カフェを地域と学校をつなぐ「開かれた場・つながる場」の一つとして活用します。普通科、職業科ともにカフェの企画や運営に携わり、学校が一体となって取り組みます。（今年度からカフェのグランドオープンを予定）

□ 作業学習

職業学科では作業活動を中心に、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。生産技術科は、木工やコーヒー豆の焙煎など、食品デザイン科は、調理、製菓、接客など、福祉デザイン科は、介護や保育、家庭看護、調理などを学習します。

- * 登校時刻 8:30（月～金）
- * 下校時刻 15:35（月～金）

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

令和2年度は卒業生がいません。

学校QRコード



渡島管内

北海道北斗高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒049-0156 北斗市中野通3丁目6番1号
☐ 問合せ先 TEL 0138-74-3431
 FAX 0138-74-3435
 E-mail hokuto-koushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.hokuto-koushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「勁(つよ)い心を持ち 豊かに生きる力 たくましく働く力を育成する」
☐ 校訓
 「明 朗」「勇 健」「誠 実」「協 和」
☐ 概 要



本校は平成29年に開校した、知的障がいのある生徒を対象とした、職業学科を設置している高等支援学校です。環境・流通サポート科及び福祉サービス科を設置し、卒業後の社会的自立、職業的生活の充実に向けた教育を展開し、生徒全員の就職を目指します。また、道南で初となる高等学校に併設される高等支援学校であり、高等学校と連携し、共に学び、共に成長する教育活動を推進します。

■特色ある教育活動（設置学科：環境・流通サポート科 福祉サービス科）

【 北斗版デュアルシステム 】

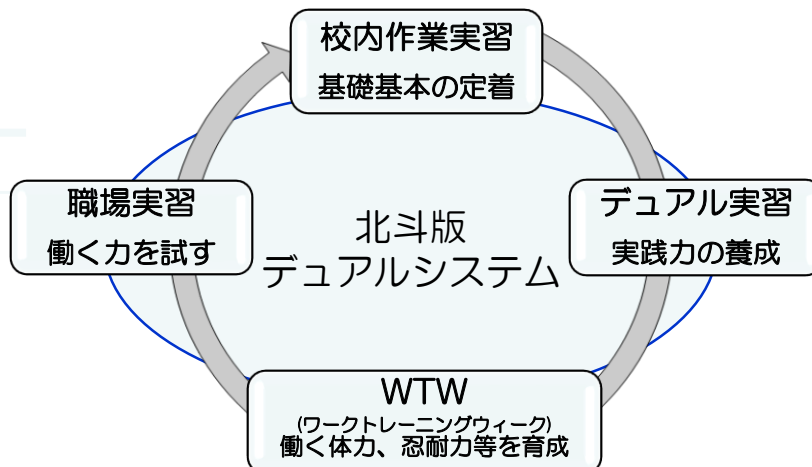
「北斗市で学び、北斗市から道南地域へ巣立ち、道南で働き、道南で暮らす人間を育てる」を基本理念とし、学校と地域、企業両方で繰り返し実習を行うデュアルシステムを構築して、「地域で働きながら学び、学びながら働く」教育を実践しています。卒業後の進路は、生徒の希望や適正に応じたジョブマッチングを行い、北斗市を含む道南地域での就職を目指します。

【 環境・流通サポート科 】

- ① ビルクリーニング作業、環境整備などの学習を通して、資機材の使用方法や作業工程等についての知識や技能を育成します。
- ② 印刷・製本等の事務補助作業を通して、事務機器や用具、コンピュータ等の取扱いや、商品の管理・梱包・発送等に関する知識や技能を育成します。

【 福祉サービス科 】

- ① 社会福祉に関する実習等の学習を通して、身体介助や家事援助、接客対応などの基礎的な知識や技能を育成します。
- ② 居宅介護従事者の業務内容等を学び、資格取得につながる専門的な知識や技能を育成します。



「地域学校協働活動」

学校と地域・企業両方で繰り返し実習を行う「北斗版デュアルシステム」は、地域の企業等に連携を依頼し、学校と地域が連携・協働して、生徒の成長を支える学習活動です。



環境・流通サポート科：印刷・製本



環境・流通サポート科：スーパーでの実習



環境・流通サポート科：環境整備



福祉サービス科：身体介助



福祉サービス科：グループホームでの実習



福祉サービス科：介護食調理

■第1学年生徒の週時程表

【環境・流通サポート科／福祉サービス科】

	月	火	水	木	金
1	保健体育	流通・サービス／福祉	総合	流通・サービス／福祉	保健体育
2	保健体育		国語		保健体育
3	外国語		情報		国語
4	LHR		社会		自活／道徳
5	美術／家庭		理科		数学
6	美術／家庭		音楽		職業

- * 登校時間 8：30（月～金）
- * 下校時間 15：35～（月～金）
- * 部活動 15：40～週4日活動

陸上・フットサル部、ティールール・バスケットボール部、バドミントン部、文化部

■教育課程の特徴

- 各教科等の学習
週12時間の専門教科（流通・サービス／福祉）を中心に、生活の中で実際に生きて働く知識や技能を習得します。
- 社会に開かれた教育課程
「北斗版デュアルシステム」を推進し、地域・企業で日常的に働く経験を通して、働くために必要な体力や忍耐力、実践力等を育成します。
- 取得を目指す資格等
 - (1) ビルクリーニング検定3級（国家検定）
令和2年度 4名合格
 - (2) 社会福祉・介護福祉検定
（全国福祉高等学校長会主催）
令和2年度 8名合格
 - (3) 認知症サポーター養成講座
（厚生労働省事業）
令和2年度 22名受講
 - (4) 日本漢字能力検定
令和2年度 10名合格
（5級：2名、6級：1名、7級：1名、8級：3名、9級2名、10級1名）

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

- 一般就労～12名【清掃業、介護職、製造業、自動車整備、クリーニング、小売業、旅客サービス】
- 福祉的就労～5名【就労移行支援、A型、B型】

学校QRコード



檜山管内

北海道今金高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒049-4304 瀬棚郡今金町字今金454番地1
☐ 問合せ先 TEL 0137-82-3121
 FAX 0137-82-3092
 E-mail imayou-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.imayou.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「豊かな心とつよい体をつくり 生涯にわたって自立し たくましく生きる生徒を育てる」

□ 校 訓

「自ら行動し 最後まで 努力する人」

□ 概 要

本校は、平成9年に開校した高等支援学校です。知的障がいのある生徒が学校生活や社会生活の中で「生活する力」「働く力」を身に付けるため、3学科（窯業科、農業科、家庭総合科）に分かれて学習しています。

学校に隣接する寄宿舎では、遠方で通学困難な生徒が入舎しており、身辺自立や自己管理能力、コミュニケーション能力を育成しています。

今金町と連携協定を結び、「特別支援学校卒業生に対する今金町就労支援事業」や商工会事業などにより町内で一般就労する生徒を支援しています。



■特色ある教育活動

【 窯 業 科 】

窯業生産品の製造・販売や環境整備、情報の学習を通して、勤労意欲の向上を図り、働くことへの理解を深めるとともに、挨拶や場に応じたコミュニケーション能力などを育成します。

基本的な作業の積み重ねから、より高度な製品づくりへと段階的に発展させるとともに、受注生産に取り組みます。また、窯業作業に加え、公共施設の清掃、環境整備など（校内外清掃、校地内の除草など）の様々な作業に取り組みます。地域資源を活用した活動を通して、社会とのつながりを意識したり、販売活動を通して、流通システムに係る理解を深め、接客する力を身に付けたりしています。

【 農 業 科 】

草花や野菜、作物の栽培、収穫、加工、販売などの学習を通して、勤労意欲の向上を図り、働くことへの理解を深めるとともに、挨拶や場に応じたコミュニケーション能力などを育成します。

学校の農場や温室、ハウスでの栽培管理や、収穫物の加工、ドライフラワーを利用した花束づくりなど、様々な製品づくりに取り組みます。また、町や商工会からの草花の受注や、除雪、町道の除草、花壇整備等の活動を通して、地域や社会とのつながりを意識したり、働くために必要な体力や、正しい言葉遣い、周囲と協調する社会性を身に付けたりしています。

【 家庭総合科 】

縫製や機織り、紙すき、石鹸づくり等の体験的な学習を通して、勤労体験を豊かにし、働くことへの理解を深めるとともに、社会参加や自立に必要な基礎的・基本的な態度や習慣を育成します。

製品づくりやマーケティングを生かした流通・販売学習を通して、自分が果たすべき役割について理解を深めたり、状況に応じた挨拶・返事・報告や相手を尊重した発言など、社会生活に必要なコミュニケーション能力や課題解決に向けて自ら努力を続けようとする姿勢を身に付けたりしています。



窯業科：皿製作



農業科：花壇整備



家庭総合科：縫工作業



部活動：スポーツ部



部活動：音楽部



寄宿舎生活の様子

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
1	体力づくり		国語	体力づくり	
2	LHR	作業学習 (実習)	作業学習 (実習)	総合的な 探究の時間	音楽
3	作業学習 (他学科)			生活単元 学習	生活単元 学習
4					
5	国語	美術	数学	作業学習 (実習)	
6	数学		体育		
7					

■教育課程の特徴

作業学習、生活単元学習、体力づくりなどを中心に教育課程を編成しています。「今養版キャリアプランニング・マトリックス」に基づき、主に生活単元学習と作業学習の授業において、職業生活や社会生活に必要な知識や技能、態度及び習慣を育成する指導を行います。

□ 作業学習

所属する学科の作業の他に、他の学科の作業や、進路動向に沿った作業（流通、福祉サービス他）を通して、社会自立、職業自立を目指す学習を行います。

□ 進路学習

進路選択や自己実現のための方法について理解を深めることができるよう、作業学習や現場実習と関連させ、将来の社会自立に向けた学習に取り組みます。

地域と連携しながら、様々な職場での実習、体験活動を積み重ね、働く意欲や態度、実践力を育てます。

※ 登校時間 8:25（月～金）

※ 下校時間 15:30（月・火・木）／15:50（水）／13:20（金）

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

- 一般就労～7名【水産加工業、清掃業、販売業、建設業】
- 福祉的就労～14名【就労移行支援事業所、就労継続支援B型事業所】

学校QRコード

